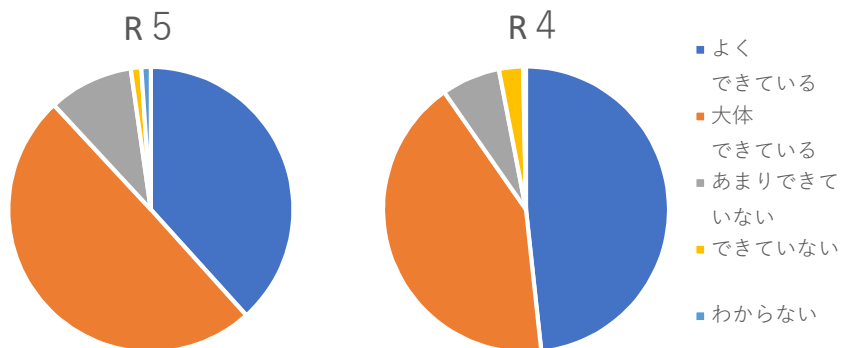


令和5年度 学校評価アンケートのまとめ

深秋の候、保護者・地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、10月に実施した学校評価アンケートの結果が下記の通りまとまりましたので、お知らせいたします。 ※各項目において、左は令和5年度、右が令和4年度の結果です。

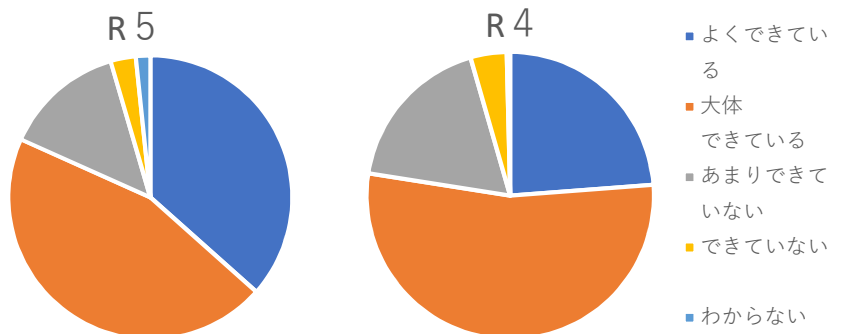
《学校教育目標について》

関連項目全体での肯定的回答の割合は昨年度同等となった。児童に対する質問において「できていない」と回答した割合は小さくなっているが、「あまりできていない」の割合が大きくなった。



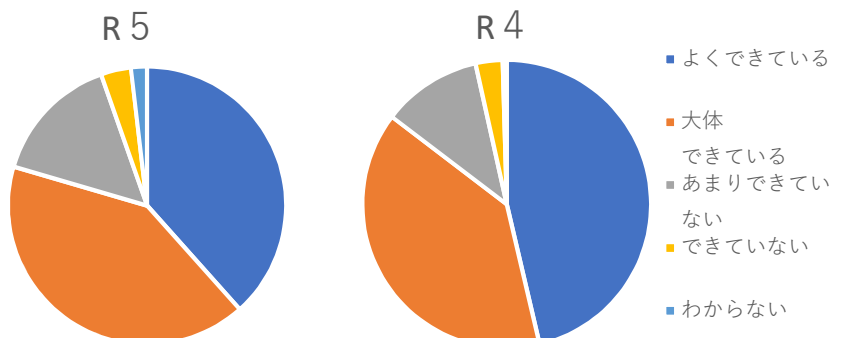
《あいさつや言葉づかいについて》

全体的に「よくできている」と回答した割合が大きくなった。特に「児童向けの質問『元気よくあいさつしていますか』に対して「よくできている」と回答した数は大幅に増えた。



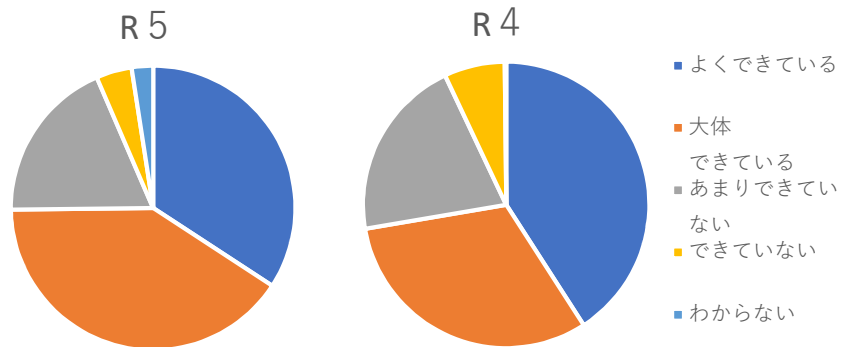
《指導法の工夫・改善について》

肯定的な回答の割合は小さくなった。設問ごとに見ると、『進んで外で遊んだり、体を動かそうとしていますか』に対して「よくできている」と回答した児童の割合が小さくなっている。



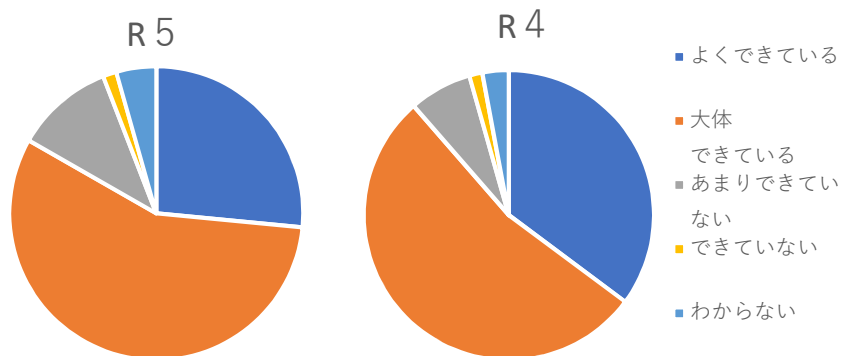
《読書活動の推進について》

肯定的な回答の割合は昨年度とほぼ同等だが、保護者向け『進んで本を読んでいますか』に対して「よくできている」の回答数が大幅に減っている。一方で「できていない」の回答数も減っている。「わからない」の回答数は大幅に増えた。



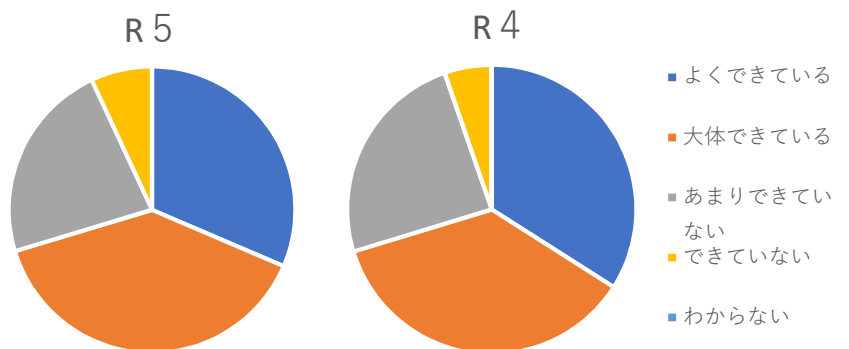
《児童の「よさ」を伸ばす教育活動について》

保護者向け『学校は、決まりやルールなどを身に付ける取組を行っているか』、『学校は一人ひとりのよさを見つけ、豊かに伸ばそうとしているか』、『学校は一人ひとりのよさを見つけ、豊かに伸ばそうとしているか』、『学校は一人ひとりのよさを見つけ、豊かに伸ばそうとしているか』については肯定的回答が少なくなっている。児童向け『よいことと悪いことが分かり、正しく行動しているか』に対して「よくできている」の回答数が大幅に減った。



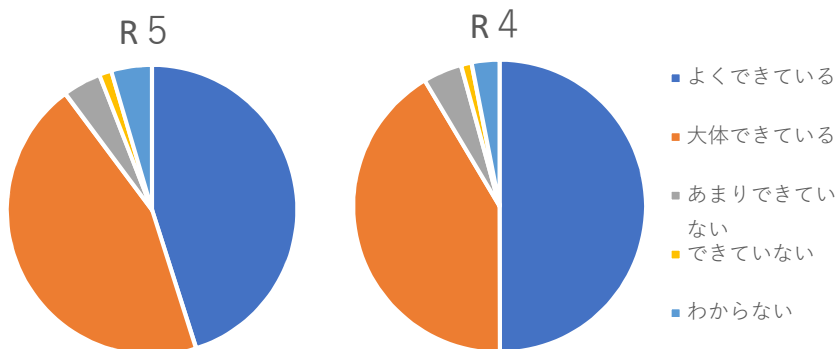
《思いや考えを伝える力の育成について》

全体で見ると昨年度とほぼ同等の割合となった。児童向け『自分の考えを進んで発表しようとしていますか』に対しては、苦手を感じている児童が多い。



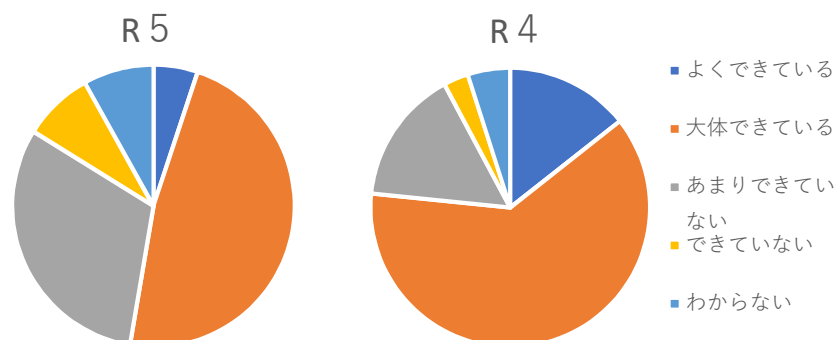
《安全・安心で清潔な学校づくりについて》

肯定的な回答の割合は前年度同等であった。しかし項目別にみると、保護者向け『非常災害や不審者対応などの安全管理体制を整え、指導・訓練をしていますか。』に対する「よくできている」の回答数は大幅に減っている。



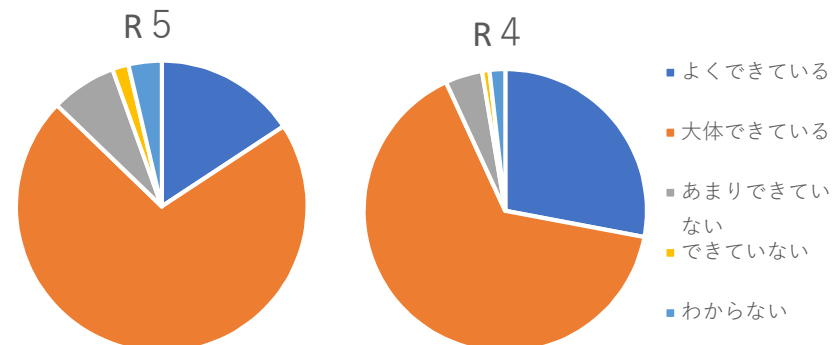
《家庭・地域との連携について》

肯定的な回答の割合が小さくなった。特に保護者向け『保護者は、学校の教育活動に積極的に関わろうとしていますか』は「あまりできていない」が大幅に増えている。



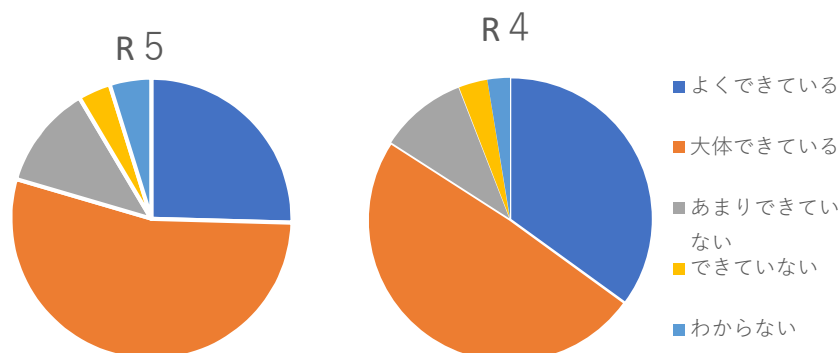
《学校情報の発信について》

保護者向けは否定的な回答が増えているとともに、「わからない」と回答した数も増えている。



《生徒指導・教育相談の取組について》

職員の「いじめ・不登校」に対する意識は高まっている。教育相談を受ける体制については否定的な回答が増えた。



◇今年度の結果分析

〈「よくできている・大体できている」の割合が大きい項目〉

○あいさつや言葉づかいについて（【児童】元気よくあいさつをしていますか。）

○児童の「よさ」を伸ばす教育活動について（【職員】一人ひとりのよさや可能性を引き出し、適切に評価することができたか。）

○思いや考えを伝える力の育成について（【職員】児童が自分の思いや考えを自分なりの方法で発言・発表できるような学習活動を工夫できたか）

○安全・安心で清潔な学校づくりについて（【職員】災害対応や防犯等の安全管理を図るとともに、施設・設備の安全点検を適切に行い、環境整備や美化を進めることができたか？）

〈「あまりできていない・できていない」の割合が多い項目〉

●指導法の工夫について（【児童】授業の内容がよくわかりますか。進んで外で遊んだり、体を動かしたりしようとしていますか）

●児童の「よさ」を伸ばす教育活動について（【保護者】学校はきまりや社会のルールなどを身に付ける取組を行っているか）

●家庭・地域との連携について（【保護者】保護者は学校の教育活動に積極的にかかわろうとしていますか）

●情報の発信について（【保護者】教育活動を伝える取組に満足していますか）

◇次年度に向けた具体的な改善策

(1)指導法の工夫について

①朝学習の有効活用。読書やタブレットでのタイピング練習により、言葉に興味をもったり、語彙を増やしたりして学びの素地を養う。②学習状況調査の振り返りと分析。どのような誤答が多いのか、どこでつまづいているのかを明確にして、教職員で共有し、授業で生かしていく。③校内研修制度の充実。お互いの授業を見合ったり、「学びの指標」アンケートを活用し、授業改善に努める。④運動委員会による休み時間を活用したキャンペーンを通して「体を動かす楽しさ」を体感させる。

(2)児童の「よさ」を伸ばす教育活動について

「きまりや社会のルール」を身に付けさせるために、①生活朝会での年間生活目標の確認②道徳における関連項目について、各学年で足並みをそろえた授業を展開する。③児童会を中心とした「あいさつ運動」を継続して実施する。

(3)家庭・地域との連携について

学習ボランティア(児童の活動に対する様々なお手伝い)の年間予定を一覧にして示し、より協力しやすい体制を整える。該当学年以外の活動にも参加できるようにして、幅広く子どもたちを見守っていただけるような呼びかけを行っていく。

(4)情報の発信について

さわやか相談日以外の面談を設定して、児童の学校での様子を伝えるとともに、保護者・地域との連携を図っていく。学校安心メールや学校HPの定期的な配信・更新により、社会に開かれた教育活動を展開していく。